



農大

2021 2月号

徳島県立農林水産総合技術支援センター農業大学校新聞

プロジェクト成果発表会



心血注いできたプロジェクトもこれで完結！

学生の研究活動の集大成とも言えるプロジェクト成果発表会が2月5日に開催されました。

1月29日が締め切りの卒業論文を書き上げた学生たちは、休む間もなく発表会の準備に取り



厳しい質問にも精一杯答えました

「農業生産技術コース」

- 粘質土壌における土壌改良によるニンジン生産 ○トマト栽培におけるIPM防除 ○M式水耕栽培によるインゲンマメとミズナの栽培技術 ○プロイラーの産肉能力向上試験及び使用衛生管理基準の習得について ○貯蔵ミカンの浮皮軽減対策 ○スタチにおけるジベレリン処理及び展着剤を利用した緑色保持と長期貯蔵の検討 ○秋冬作付けのブロッコリーの品種比較及び追肥の検討 ○枝豆の摘心栽培が収量に及ぼす影響 ○立体栽培による小玉スイカの品種比較 ○カラーニンジン品種比較調査 ○ブロッコリーの周年栽培における肥培管理とマルチ使用について ○各種トマトの品種比較及び土壌改良 ○心土破碎によるサツマイモの品質向上 ○シャインマスカットの省力・高品質栽培及び長期保存法の確立 ○根域制限ハボタンの生育試験 ○不知火栽培における労働力分散と高品質果実生産 ○培養容器で栽培 観賞できる花き品種の選定 ○水稻密苗栽培による省力化と品質向上

かかり、各コース内の発表練習やスライドに表示する内容の改善を経て本番に臨みました。今年度成果発表会のタイトルは次の通り。



会場からの質問を受け付ける司会の学生

緊張の面持ちで出番を待ちます



1年生にとって初めてのプレゼン！

プロジェクト計画発表会(1年生)

2年生の成果発表から2週間後の19日、今年度は1年生がプロジェクト計画発表

「6次産業ビジネスコース」

- 忙しい家族でも簡単に作れて美味しい野菜スープ等の商品開発 ○藍の初期成育をよくするための溝切栽培の検討 ○タデ藍の用途開発 ○蓮の未利用部位の有効活用 ○県内企業と連携した阿波尾鶏の加工品開発とSDG'sの取り組み ○イチゴ果実の硬度向上とオリジナル加工品の開発 ○赤シソを利用した加工品の開発 ○淡路島玉ねぎ採貝の実践と加工品の検討 ○阿波すず香の知名度向上 ○阿波晩茶の品質影響調査と商品開発

フォークの位置調整が難しい！



フォークリフト講習

2月22日～3月2日にかけて、フォークリフト運転技能講習が行われました。今年度は15名が参加し、見事全員合格することができました。

ともありましたが、事前の練習や修正を経て、それぞれの研究計画について分かりやすく発表できました。



経験者として2年生も見守りました



操舵輪が後輪なので慣れがいきます